

case 01

IGOCOCHI株式会社

業務委託受託者

葉山 香里さん

(50代女性)

現在の業種

▶ 医療業界

副業の業種

▶ サービス業
(居住支援法人)

現在の職種

▶ 看護師

副業の職種

▶ 営業

会社概要

IGOCOCHI株式会社

東京都新宿区高田馬場 1-28-7
高田馬場ヒルサイドパレス 304

TEL 03-6821-1847

URL <https://igocochi.org/>

設立日 2021年7月1日

資本金 3,000千円

代表取締役 北浦 雄太

従業員数 4名 (2024年12月現在)

看護師として生きてきたこれまでの、
新たな仕事で活かしたい

約40年、看護師の仕事をしています。病院勤務を経て看護学校の教員を務めたりしながら、40歳を過ぎた頃に自分で訪問看護ステーションを立ち上げました。昨年の5月に自分の事業所を閉鎖してからは、非常勤で週3回ほど、別の事業所で訪問看護の仕事をしています。

今は還暦になったらリタイアしてのんびり暮らす、という時代ではないですし、元気なうちは働きたいと思っています。また看護業界は慢性的に人手不足です。自分ができることはまだまだあるし、訪問看護に携わる若い方をもっと増やしたい…。そんなことを漠然と考えてきました。自分の事業所を閉めて、少し時間的なゆとりができると同時に、今後のキャリアについて真剣に考える時間ができたんです。看護師として、または看護師だからできることが、病院勤務や訪問看護の他にもあるのではと思い、ネットでいろいろ検索しました。そんなときにFacebookでプラチナ・キャリアセンターの交流イベントの紹介がでてきて、なんだかかわからないけど行ってみよう(笑)。それが兼業を始めることになったきっかけでした。

SNSで見つけた交流イベントに 1度出席しただけで、瞬く間に兼業が決定

Facebookでプラチナ・キャリアセンターの交流イベントの案内が出てきて、軽い気持ちで申し込みました。具体的なイメージは特になくて、何か自分のスキ





ルを活かせるものがあればいいな、くらいの思いでした。最初に話を聞いた企業は、ちょっと違うなど。つぎに伺ったのが、現在お世話になっているIGOCOCHI株式会社です。IGOCOCHI株式会社の居住支援事業の話を聞いて、自分がこれまで看護師としてやってきたことが活かせると思いました。すぐに連絡をいただき、ZOOMでの面談を経て、業務委託契約につながりました。

看護師としてのこれまでの、 すべて糧にできて、新たな発見もある、 理想の仕事にめぐり合う

私の強みは、まず看護師であることです。同時に病院勤務の経験があるので、病院の状況がわかっています。また訪問看護に長らく携わってきたので、看護される方はもちろん、ご自宅で介護をするご家族の状況や想いのようなものも知っています。これらの経験と知識をもって、貢献できたらと思っています。

現在、IGOCOCHI株式会社では営業の仕事をしています。こちらでは、老人ホームや高齢者の賃貸住宅探し、高齢者の生活支援などの事業を行っているのですが、そういった事業を病院に紹介するのが主な業務に

なります。そのほか、ご家族との面談をすることもあります。病院には人脈がありますので、まずは話を聞いていただけるなど、これまでの経験が大きく役に立っています。

若い企業のこれからを 創っていくのは、またとない機会。 想像もしていなかったワクワクの時間を楽しむ

IGOCOCHI株式会社は、創業4年目のまだ若い企業です。先の話と重複しますが、飛び込み営業ではアポイントメントが取りにくいところでも、まずは話を聞いていただける。突破口を開くところまではいけるわけです。その後は社内で連携して進めていきます。自分のもてる資源を惜しまずに提供すれば、共に成長していける、そう考えています。

兼業の頻度も時間も、 自分の予定ありきで相談できる

業務委託契約で、週に2回をIGOCOCHI株式会社での仕事にあてています。1日8時間といった時間のしぼりはありません。自分のペースで病院への営業など



の業務にあたっています。お客様の物件見学の立ち会いやご家族との面談などの予定が入ると、社内システムで共有される仕組みになっています。前日までにスケジュールを確定すればいいので、自分のペースを大切にしながら働くことができます。

いま気になっているのは予防医療。 高齢者が楽しく生きていける 社会の創造に携わりたい

年齢を重ねて、漠然とですが、社会貢献をしたいと考えるようになりました。病気や体が思うように動かなくなってしまった人のケアだけではなく、予防医療的なことにも関わっていきたい。高齢者がいきいきとアクティブに生きていける社会の創造に携われたら、幸せだなと。IGOCOCHI株式会社での現在の仕事も、いずれはそこにつなげていくことができるのではと考えています。

ベテランナースもほかの同世代の方々も、 プラチナ・キャリアセンターを上手に使って、 理想のセカンドキャリアを目指して

看護師の業界も定年があり、再雇用になると、やることは変わらないのに報酬は半分になるのが現実です。このままでいいのか、別のことをやったほうが楽しいのではないかと、疑問を感じているプラチナナース（定年退職前後の就業している看護職員）はたくさんいます。副業・兼業を希望する人材をサポートするプラチナ・キャリアセンターの存在を、もっと多くの人に知ってもらいたいです。自分がこれまで培ってきたものを、意外な形で活かせる仕事に出会える可能性がここにはある。私はそれを身をもって体験することができました。



職場でのコミュニケーションを

テーマに話し合ってもらいました。

IGOCOCHI 株式会社
業務委託受託者
葉山 香里さん

IGOCOCHI 株式会社
代表取締役社長
北浦 雄太さん

北浦 業務委託の方は基本的に出社していただくことはないのですが、社内システムでスケジュールと情報を共有しつつ、細かいことはLINEでやり取りをしています。お客様の個人情報に関わることは、さすがにLINEではなく、すべて社内システムを使います。私はコミュニケーション上、問題がないと思っているのですが、いかがでしょうか？

葉山 来週の予定はこうしたいんですけど、みたいな感じで、いつでも気軽にLINEを送れる環境にあります。もちろん内容によっては通話をすることもあります。LINEだと返信も早いので、私はコミュニケーション上の不満や不安は特に感じていません。北浦さんはいつもスペクトをもって自分に接してくださっているので、その人間関係のようなものがベースにあるのかもしれません。

北浦 定期連絡のような決まりごとは特にありません。葉山さんの場合は、毎週決まった曜日に当社の仕事をさせていただくことになっているので、約束事といえるのは、前日までに社内システムのスケジュール表に確定した予定をいれていただくことくらいでしょうか。葉山さんのご人脈で病院への新規営業のお約束を取り付けていただくことが多く、私も同行させていたきたいので、この日この時間はど

うですか？といったやり取りはLINEで、決まったスケジュールは社内システムへという流れです。

葉山 コミュニケーションでストレスを感じることは、幸せなことに、いまのところないですね。

北浦 私は前職では、老人ホームの施設長を務めていました。看護師さんや介護士さん、ヘルパーさんなど多様な職種の方がいらっしゃいました。葉山さんは看護師さんでいらっしゃるので、普段の連絡は、とにかく要点だけを簡潔にすることを心がけています。

葉山 営業で同行いただくことが多いので、その機会に直接やり取りできる機会があります。そういう意味では、とても恵まれているのかなと思っています。

北浦 トークアプリを上手に利用して、顔を合わせることが少ない業務委託の方との距離感を適切に保つように心がけています。気楽だからと言ってあまり細かいと嫌がられる。かといって、いつも気にかけているという思いは、何らかのアクションを起さないと伝わりません。当社は業務委託の方のお付き合いはまだ浅いので、皆さんの感想を折に触れて確認しながら、理想のコミュニケーションの模索を続けていくつもりです。